

第490回 三水会便り

「生物多様性の重要性と我々の危機意識」 9月例会で中村直樹が訴える

ようやく梅雨が明けました。平年に比べ 11 日遅れ。思いっきり野山を駆け巡りたいのですが、新型コロナウイルスが執拗に絡んできます。停止していた例会を小嶋一男「22,000km 犬橇探検」で再開したものの、東京への移動に自粛要請もあり、出席者は少なく残念でした。感染拡大防止ルールをしっかりと守って活動しましょう。第 2 弾は中村直樹「生物多様性の重要性と我々の危機意識」です。懐かしい話/第四報は「シリーズと銘打った現地集会」を送ります。(高橋重)

連絡事項

■9月例会/中村直樹講演 17日午後5時、集会室で 「HOTEL SUNSET VIEW から見る景観はなぜ美しい」

生物の多様化の重要なこと、その意義、またわれわれが行動しなければならないことは、ごく日常的に広く認識されており、それぞれが十分に分かっているつもりだ。しかし、多様化を阻害していることが予想以上に広範囲に広がっていること、また無意識に阻害していることを個々が意識していないのではないか。中村さんは、つねにそう考えてきた。いくつかの実例をテーマにして紹介しようと思ったという。パワーポイントを使い説明することにした。第一はカトマンズの夕日のことだ。HOTEL SUNSET VIEW では、季節ごとに異なる夕日が美しく見えます。なぜ、お話ししなければならないのでしょうか。第二はケータイデジタなどに使われるレアメタルのこと。それによってアフリカのゴリラが存続の危機に陥っていること。第三の話は、ホモサピエンスが対馬から日本列島にはいったことかから始まります。

■9月5～6日/恒例の「あんころ餅と薬湯の会」を実施、シュラフ必携

上高地の山研が7月15日から利用可能となりました。恒例の「あんころ餅と薬湯の会」を9月5～6日に実施します。人数制限があり10人まで。布団は利用できませんのでシュラフ持参、マスクをすること、管理人から手洗いなどを指示されます。川俣さんの希望で6～7日の延泊希望者用に5人でお部屋予約済みです。担当/川俣、北口。

■8月「野美の市」、上州トレイルは中止。「旧甲州街道」は延期のまま

「野美の市」を中止します。集会室が土日に閉鎖され8月1日は使用できません。飲食が禁止されたことでもあり残念ながら取りやめます。担当/勝田。現地集会として7月26～28日に予定していた上州トレイル(谷川岳、仙ノ倉山)も山小屋利用のため中止しました。小さな小屋でのリスクを考慮しました。担当/征矢。延期していた旧甲州街道トレイルは、梅雨明けを待って7月22日実施の予定でしたが、梅雨が長引き、結局は延期したままになってしまいました。

◇三水会当面の予定

実施月	例会等	現地集会
8月	8/1 中止/野美の市	—
9月	9/16 中村直樹「生物多様性」	9/5～6 あんころ餅と薬湯の会
10月	10/21 創立45周年記念集会	10/15-16 西上州(山未定)

講演報告/小嶋一男

8年かけ北極 22,000km を犬橇で踏破 バイカル湖～ベーリング海峡～グリーンランド・アンマサリック

実に多彩な話だった。どれも実際の経験に基づくものだけに、内容は新しく面白かった。輸送手段として使える動物は、赤道近くはもっぱら馬だという。緯度を上げ北へ行くと、馬からトナ

カイに、さらに犬がとって代わる。北極になると、犬の世界だ。とにかく寒さに強いが、マイナス75度ぐらいになるまで凍傷にならない。人の言うことをよく聞く。忠実だ。耳を巧みに動かして言うことを聞こうとする。うそをつくことがあるが、目をみるとよく分かる。

最北の村で大島育雄さんに会った。日大山岳部 OB で4年後輩。イヌイトになってしまった。元気だった。たいへん世話になった。アッパリアスというウミドリを捕獲し、それをアザランの腹の中で発酵させキビヤックをつくっていた。とびっきりおいしかった。

日大山岳部は「未知の世界に挑戦すること」を信念にして行動してきた。1965年、印パ戦争のあおりでヒマラヤへの道を閉ざされ、グリーンランドに目標を切り替えた。登山用の荷物を搬送するため犬橇の活用を決めた。担当したのが小嶋だった。日大隊は68年、日本人として初めてグリーンランド氷床の横断に成功。小嶋は犬橇の第一人者になっていた。95年にアラスカのアイディタロット犬橇レースに挑戦。97年に「極北ロマン紀行」と名付けた計画を立案した。一人でバイカル湖を出発、ベーリング海峡を渡り、アラスカ、カナダ北西準州と犬橇の旅を続け、スミス海峡を渡ってグリーンランドのアンマサリックを最終ゴールとするものだった。

それは、まさしく“未知の世界への挑戦”だったが、たんに22,000kmを踏破するだけではなかった。モンゴル人種が広く分布し活躍している。モンゴル人種にとっても、移動は“未知の世界への挑戦”そのものだったろう。モンゴル人種がたどったルートを確認するねらいがあった。部落に着くたびに、尿をもらい東京に送ってDNAを調べてもらった。



1867年、アメリカはロシアから720万ドルでアラスカを買った。当時、巨大な冷蔵庫を買ったと、批判された。30年後に金鉱脈を発見した。アメリカは大儲けした。幸運の土地をひたすら走り続けた。計画は当初、4年くらいで達成する予定だったが、途中政治的理由で通過できなくなったり、暖冬のため海峡が結氷せず中断しなければならないことがあったりして、2004年ようやくグリーンランドの西海岸に到達した。シオラパークから内陸氷床を登り、氷床を南下し、東海岸のアンマサリックに到着。途中3年間の休止期間をはさ

み、8年の歳月を費やしての完結だった。

※「極北のロマン紀行」は、「A Romantic Journey in the Far North」として2005年5月発行のJAPANESE ALPINE NEWS Vol 4に掲載された。

北極ロマン紀行探検 1997年にバイカル湖から開始。チェルスキーまで7,400km。98年、チェルスキーからベーリング海峡を渡りポイントバローまで6,500km。99年、ポイントバローからケンブリッジベイまで5,400km。2001年、ケンブリッジベイからグリスフィヨルドまで2,500km。04年、グリスフィヨルドからグリーンランド・アンマサリックまで2,800km。シベリアからグリーンランドまで計22,000kmの冒険だった。

懐かしい話/第四報

シリーズと銘打って楽しんだ現地集会

2月飯能・竹寺，3月千葉・高岩山，8月丹沢・大山

“シリーズ”と銘打って、現地集会を催した。飯能の竹寺、千葉の高岩山、丹沢・大山など。竹寺は2月、高岩山は3月、大山は8月と決まっていた、年始めに作成するカレンダーには9月の上高地とともに必ず実施予定を書き込んだ。竹寺は坂倉登喜子、高岩山は岡野修・酒匂輝昌、大山は阿部一孝、平澤哲臣が係りを務めた。

いきさつがある。最初に始めたのは竹寺だった。1955(昭和30)年ごろだった。坂倉さんは、武蔵野電車と飯能からの馬車を利用し名栗谷から竹寺に登った。雪のなか「寒かったですよ」と住職から歓迎された。見事な竹林とおもてなしに感激し、それ以来続けていた。75(昭和50)年に三水会が発足。2年目にみんなを誘った。正式名称は医王山薬寿院八王寺。鳥居の下の

茅の輪をくぐってお参りする。神仏習合の寺として知られている。本尊は牛頭天。竹筒にはいった薬湯と精進料理が忘れられない。翌日は、豆口峠～子の権現へと歩くのを常とした。道端には、カンアオイが花をつけていた。子の権現から西武秩父線西吾野駅まで下った。23 回続けた。



高宕山は 73(昭和 48)年に国民体育大会千葉大会で山岳競技会場となった。その際に登山ルートが開かれ、開発した北島さんから三水会の千葉在住会員に紹介いただいた。三水会の現地集会は 88 年 3 月が 1 回目。北島さんはザイルを持って出迎えた初回幹事は勝田・田久保さん。以降、99 年(平成 11)年まで 12 回にわたって続

いた。国民宿舎「清和荘」に前泊、当日は登山口までバスで送ってもらった。千葉県最高峰は愛宕山だが、頂上は自衛隊の基地のなかにある。高宕山は第 2 の高峰 315m とはいえ、展望がよくアルプスを歩いているような気分だった。12 回続けた。

丹沢・大山は北尾根を風がよく通り涼しいという阿部さんが幹事となって始めた。実施は、あえて夏の盛りとした。阿夫利神社から大きな大刀を担ぎ上げる神事がある。小田急秦野駅に集合、タクシーに分乗しヤビツ峠を越えて地獄谷から東電の巡視路を歩く。少しヤブ漕ぎを強いられるが、そのあとひょっこりと頂上に出る。下りは、ケーブル下追分にある「もとだき」で豆腐料理を楽しんだ。

■会費納入のお願い

三水会の会費(年 2,000 円)を納入ください。一般普通銀行からも次の口座に送金できます。

三水会口座 ゆうちょ銀行/金融機関コード(9900), 店番/058(店名/ゼロゴハチ), 種目/普通, 口座番号/6700271 です。

■新入会員紹介

うれしいお知らせです。新入会員を紹介します。征矢三樹・高橋あかねさんとヤマで一緒になり三水会のことを知ったそうです。ルームの近くにお住まいです。

◇三井賢治(ミツイケンジ, 会員番号 16420, 住所/千代田区麴町, 46 歳)

三水会便り 第 490 回 発行 2020 年 8 月 1 日 東京都千代田区四番町 5-4 日本山岳会三水
